

北海道のJA、森林組合に義援金 復旧へ引き続き支援

共産党

日本共産党中央委員

会北海道地震対策本部
の嶋山和也事務局長
(前衆院議員)は20日、
札幌市のJA北海道中
央会、むかわ町の苫小
牧広域森林組合を訪
れ、全国から寄せられ
た義援金を届け、懇談

しました。

JA道中央会では、
飛田稔章会長が応対。
嶋山氏が真下紀子道議
団長とともに、義援金
を手渡しました。

電)で営農が甚大な被
害を受けたと振り返り

「災害はいつでも起
り得るもの。さまざま
なケースを想定して備
える体制が必要になっ
ています。一日も早く
経営ができ、生活を取
り戻せるよう引き続き

支援をお願いしたい」と
求めました。

苦小牧広域森林組合
には、北村修、大松紀



美子、舞良(もりよ)
喜久の党むかわ町議と
訪問しました。

山崎常彰代表理事専
務は、組合が扱う原木

の半分が崩落した厚真
町で原木の確保に危機
感を持っていると告
発。「個人事業主は自
己負担が避けられず、
被害状況や被災率に応
じて支援する財源に使

わせてもらいます」と
語りました。

「この地域は農業や
林業が一体となって発
展してきました。現場

が動き出せば木材の確
保ができます。早く復
旧してほしい」と訴え
る山崎専務。嶋山氏は
「町議や道議団と連携
し、国に対策を急ぐよ
う求め、被災したみな
さんが意欲を持って頑
張れるよう支援しま
す」と応じました。

飛田会長(右)に義援金を
手渡す嶋山(中央)、真下
の両氏(20日、札幌市)